

あいまいな喪失 (Ambiguous Loss)

～行方不明者家族への支援～

講演会・ワークショップのご案内

平成23年3月11日の東日本大震災では、行方不明者の数が3千人以上に及びました。海外では、家族が行方不明になることは「あいまいな喪失 (ambiguous loss)」と呼ばれ、行方不明者家族に特有な問題が生じるといわれています。この度、「あいまいな喪失 (ambiguous loss)」の支援の世界的な第一人者であり、行方不明者家族への多くの支援経験をもつミネソタ大学のPauline Boss博士を被災地にお招きし、講演会とワークショップを開催します。どうぞ奮ってご参加下さい。

講師紹介: Pauline Boss博士(ミネソタ大学)

ミネソタ大学名誉教授。自身の体験から「あいまいな喪失 (ambiguous loss) 理論」を提唱。行方不明者の家族、認知症患者の家族など、あいまいな喪失に苦しむさまざまな家族の支援経験をもち、9.11の米国テロの際にも成果をあげた。著書に「さよなら」のない別れ、別れのない「さよなら」学文社、「Loss, trauma, and resilience. Therapeutic work with ambiguous loss」Norton & Companyなど。



Pauline Boss博士 ワークショップ * 逐次通訳付き

日時: 平成24年12月3日(月曜日) 午前9時半～12時半、午後1時半～4時半(計6時間)

対象: 行方不明者家族の支援に関心のある医療・心理・福祉専門職、教育関係者、支援に携わる専門家など

受講料: 3,000円

場所: 東京エレクトロンホール宮城

(地下鉄「勾当台公園」駅より 徒歩2分) 仙台市国分町3-3-7 電話022-225-8641

申し込み方法: <http://my.formman.com/form/pc/1OZdbpApvGp4EvsP/> にアクセスし、専用フォームでお申し込み下さい。

※上記のURLは、JDGSホームページ(「震災で大切な人を亡くされた方を支援するためのウェブサイト<http://jdgs.jp/>)より直接アクセスできます。

※なお、専用フォームにアクセス出来ない場合は、boss_workshop@human.ryukoku.ac.jp にお問い合わせください。

申し込み締め切り: 10月31日

(定員100名。申し込み多数の場合は、被災地の方を優先させていただきます)

※受講の有無については、11月初旬にご連絡させていただきます。

お問い合わせ: 龍谷大学短期大学部 黒川 雅代子(boss_workshop@human.ryukoku.ac.jp)

(主催) JDGS (Japan Disaster Grief Support) プロジェクト

(共催) 家族研究・家族療法学会 東北大学実践宗教学寄附講座

(後援依頼中) 宮城県精神保健福祉センター、仙台市精神保健福祉総合センター、岩手県精神保健福祉センター、福島県精神保健福祉センター、みやぎ心のケアセンター、岩手県こころのケアセンター、ふくしま心のケアセンター、日本トラウマテックストレス学会、仙台グリーンケア研究会

本企画は、日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤B(24330183)事業(東日本大震災における遺族への心理社会的支援プログラムの開発と検証に関する研究)によって運営しております。